

# 下田メディカルセンター事業評価結果報告書

令和2年3月25日

## ① 事業評価機関名

下田メディカルセンター事業評価委員会

## ② 被評価事業者

名称：一部事務組合下田メディカルセンター（構成市町 賀茂圏域1市5町）  
管理者：下田市長 福井祐輔  
所在地：下田市六丁目4番43号  
事業：病院事業及び介護老人保健施設事業（指定管理制度に基づき医療法人社団静岡メディカルアライアンスに施設の管理運営を委任している）

## ③ 評価年度

平成30年度事業

## ④ 総評

### ◇総合的意見

下田メディカルセンターは、平成30年1月～12月の賀茂圏域の救急車搬送件数3,077件のうち、1,302件（42.3%）を受け入れるなど、圏域唯一の公立病院として、急性期医療を中心とする地域医療を担う責務を担っている。

開院から7年が経過したことで、地域住民との信頼関係も構築されつつあり、受入れ患者の増加の要因として認められる。

指定管理者の財務状況では、収支額も前年度（H29）同様に大幅な黒字化を達成できており、経営改善計画（以下「本計画」という。）遂行を真摯に取り組みられた結果が伺える。

今後においても、静岡県地域医療構想で示された将来の必要量に応じた医療提供体制の確立を、本計画及び公的医療機関等2025プラン等で明確にして、実行されたい。

### ◇改善を求める点

常勤医師数については、指定管理募集条件である常勤医師数の10名を確保できており、概ね評価できるが、静岡県からの派遣医4名を含んでおり、とりわけ整形外科医の確保が喫緊の課題であると認められることから、大学医局等との連携を密にするなどの方策により、さらなる自主努力での医師確保に努められたい。

### ◇検討を求める点（1）

平成30年度の病床利用率が60.4%と、前年の60.0%から、僅かながら改善傾向にはあるものの、目標値63.4%には程遠く、公立病院改革ガイドラインで示す70%を確保するためには、保有する病床数の転用や看護師配置基準の変更（7：1⇒10：

1) も継続して検討されたい。

◇検討を求める点（2）

本計画に目標数値等の記載はないが、今後の地域医療において重要課題であり、基幹病院としての責務でもあることから、在宅医療・訪問診療体制構築を検討されたい。

◇検討を求める点（3）

地域の少子化や開業医の高齢化等により、将来的な民間産婦人科医院の閉院による地域分娩機能喪失に備えるため、継続した調査・研究を検討されたい。

◇検討を求める点（4）

平成 30 年度において、電子カルテシステムの更新、眼科記事記載システムの導入等、ICT医療機器を最大限に活用し、さらなる効率的な運営及び導入を検討されたい。

◇検討を求める点（5）

本計画に記載し、また評価すべき趣旨ではないが、平成 30 年度より開始した災害対策訓練の継続実地を検討されたい。

◇検討を求める点（6）

現時点において、公立・公的医療機関等の 2025 年に向けた具体的対応方針の再検証対象医療機関には該当しないが、厚生労働省による「診療実績が特に少ない項目」、「類似かつ近接している項目」のデータの確認・再計算の結果によっては、対象病院に追加される可能性があるため、地域の医療ニーズを踏まえ、今後実施可能な項目について検討されたい。